

分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会
No.158 2016.8.15
発行責任者 松本 幸一
編集責任者 教 宣 部

第8回定期大会開催！

8月3日、J R 東海労大阪仕業検査車両所分会は、茨木市福社会館において第8回定期大会を開催しました。

大会の開会に先立ち、2月に亡くなられた分会組合員として奮闘されてこられた清水清さんに哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

その後、大会議長に島津組合員を選出し議事を進行していただきました。

松本分会長は「参議院選挙以降、改憲勢力が3分の2以上となったが、世界平和、平和な社会を築くためJ R 総連の旗のもと、すべての戦争に反対する労働者、市民団体の仲間と連帯して、安倍政権の暴走に歯止めをかけるために頑張りましょう。」「職場闘争として偽装請負の問題や特殊健康診断の問題についてこだわりを持って取り組み成果があった。」「中労委Pでは本部・地本・分会から3名の証人が闘った。」「分会では夏のボーナスカット者はなしだった。不当なボーナスカットに対し2名の分会組合員が本人訴訟裁判を最先頭で闘っていること、その裁判の中で明らかにさせた管理者のデタラメなボーナスカット理由の報告内容を『さいばん通信』で情報化し内外に明らかにして闘っている成果だと思う。その2名の証人尋問が始まるが、一緒に支えていきましょう。」「組合員8名が出向しているが、馴れない仕事、馴れない環境で肉体的・精神的に苦勞されている。今後も出向先の安全問題、設備改善、労働条件改善を求めて取り組んでいく。」等の挨拶を行いました。



来賓挨拶は、地本の三田副委員長、各分会からの参加とメッセージ、地本OB会から参加を頂き連帯の挨拶を受けました。

質疑では、「検修車に轢かれそうになった安全問題について」「出向先のタイガー警備保障会社との団体交渉開催が決まったことについて」「職場の問題点解決に向けて」等の貴重な発言がありました。

これらの発言を受け、これまで以上に職場でこだわった取り組みを展開していくことを確認しました。

大会の最後に松本分会長の団結ガンバローで締めました。